

ぜひ、お出かけください！
チェルノブイリも福島原発事故も風化させては
ならない、との思いを実感することでしょう。



写真展「チェルノブイリ30年フクシマ5年」(写真：広河隆一)

写真展を下記のように企画しました。

今年で、チェルノブイリ原子力発電所の事故から30年を迎えます。

30年といえば、セシウム137の物理的な半減期の年数です。大地と大気を核汚染した放射性物質は半減しただけです。高度に汚染された土地は今も汚染され続け、大地や水、空気からの内部被ばく、次世代への健康被害も、ますます深刻になっています。

日本ではフクシマの事故から5年。子どもたちの間で甲状腺ガンが増えています。汚染は県内に止まらず内部被ばくの危険性が大変案じられます。因果関係が分からないとして健康被害が無視されることは許されません。

この写真展をご覧いただくと、チェルノブイリ・フクシマの現状・未来、また原子力・核産業のゴミによって広く人類に与える影響の大きさ、深刻さの実相が伝わります。



フォトジャーナリスト広河隆一の写真展から
*チェルノブイリ60枚/フクシマ20枚/イラク10枚/
世界の核汚染10枚など展示。
*写真はキャプション(説明文)付きです。
放射能被害の本質を静かに訴える力を持っている。

下記期間中にぜひ足を運ばれると同時に、周囲の方にもお声かけをお願い致します。

■場所：東京YWCA会館 エントランスロビー・階段

■日程：8月3・4・5日(水・木・金) 9:30~20:00

■入場無料 101会議室でも映画「日本と原発」DVDゲスト版くり返し上映
(3・4日:11~16時、5日:13~16時) 無料

* 問い合わせ先 sf-naitou@nifty.com (内藤新吾) 047-362-4857 稔台教会・内藤

《賛同団体》

キリスト者政治連盟/日本山妙法寺/平和を実現するキリスト者ネット/日本カトリック正義と平和協議会/日本カトリック正義と平和協議会平和のための脱核部会/神奈川教区基地・自衛隊問題小委員会/日本基督教団神奈川教区社会委員会/NCC女性委員会/富坂キリスト教センター/原発体制を問うキリスト者ネットワーク/日本YWCA/東京YWCA

主催：日本キリスト教協議会(NCC) 平和・核問題委員会